

令和6年度「県大へ行こう—授業公開週間—」公開科目・概要

【庄原キャンパス】

※1限 9:00~10:30 2限 10:40~12:10 3限 13:00~14:30

4限 14:40~16:10 5限 16:20~17:50

生物資源科学部（地域資源開発学科、生命科学コース、環境科学コース）専門科目の公開科目..... 緑色  
 全学共通教育科目の公開科目..... 紫色  
 学部・学科・コースでの企画..... 水色

【7月15日（月）】

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
15日・2限	英語総合ⅡA	馬本 勉	1201 講義室	10名
この授業は、1年生を対象とした全学共通教育科目の英語授業です。当日は映画の台詞を用いたリスニングや、英文ニュースの読解とディスカッションを行います。 持参物等：筆記用具				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
15日・3限	蔬菜園芸学	甲村 浩之	3201 講義室	5名
この講義は、3年生を対象とした蔬菜（野菜）の栽培研究の知識を習得するための講義です。当日は第9回の講義となりますが庄原でもなじみのあるトマトやアスパラガスの特産野菜を対象とした話になると思います。 持参物等：特になし				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
15日・3限	基礎食品学	山本 幸弘	2201 講義室	20名
この講義は、2年生の開講科目です。食に対する正しい理解と倫理観を養い、日頃から健康・健全な生活を送るために必要な基本的知識を修得することを目的としています。当日は、食品成分の1つであるミネラルと、呈味成分について解説します。 持参物等：特になし				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
15日・3限	生物学Ⅱ	長尾 則男	大講義室	20名
1年生対象の講義です。この講義では高校および生物学Ⅰで得た生物学の知識をより根元的に掘り下げることで、今後進んでいく生命科学・環境科学の各専門分野への橋渡しの入門科目として位置づけられています。当日は個体を守る免疫のシステム(前半)について概説する予定です。 持参物等：特になし				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
15日・3限	環境管理学	西村 和之	1202 講義室	20名
本科目は、環境学科コースの3年生を対象にした専門科目で、当日は、今日的な課題である気候変動の現象、その影響や処し方とともに、実社会における環境科学の役割を学ぶ単元です。 実施日と時間毎の具体的なテーマは次の通りであり、それぞれ単独で受講しても理解できると考えています。 15日3時限目：気候変動と物質循環、4時限目：グローバルな気候変動と人間活動への影響 持参物等：筆記用具				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
15日・4限	環境管理学	西村 和之	1202 講義室	20名
本科目は、環境学科コースの3年生を対象にした専門科目で、当日は、今日的な課題である気候変動の現象、その影響や処し方とともに、実社会における環境科学の役割を学ぶ単元です。 実施日と時間毎の具体的なテーマは次の通りであり、それぞれ単独で受講しても理解できると考えています。 15日3時限目：気候変動と物質循環、4時限目：グローバルな気候変動と人間活動への影響 持参物等：筆記用具				

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
15日・4限	分子生物学	松崎 秀紀	2202 講義室	20名
<p>この授業は2年生を対象にした講義です。生物は、個々の細胞に含まれる膨大な遺伝情報を厳密に制御・発現させ、生命活動を維持します。この講義では遺伝子の構造と機能、遺伝子の機能が発揮されるメカニズムやDNAを扱う技術などを紹介します。</p> <p>持参物等：特になし</p>				

### 【7月17日（水）】

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
17日・5限	生理学	山下 泰尚	大講義室	10名
<p>この講義は2年生を対象に、生理学の基礎知識を習得するため、生物の構造単位がいかにして制御・調節されるかについての基礎を習得することを目標とします。予定では当日は男性の生殖生理学について習得するために、配偶子形成のメカニズム、雄性生殖器の構造、精子形成、雄の性ホルモンとその役割について講義を行います。</p> <p>持参物等：特になし</p>				

### 【7月18日（木）】

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
18日・3限	生態学	荻田 信二郎	3201 講義室	3名
<p>この講義は、2年生を対象に、我々の生活と密接な関連性がある生態系のしくみに関する基礎知識を幅広く学修するものです。特に農と食に関わる生態系を自ら考えることができる様に、学内の様々な植生を実際に調査し、その特徴について議論する演習を含みます。予定回は「植物資源の利用管理と生物多様性」です。</p> <p>持参物等：特になし</p>				

### 【7月22日（月）】

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
22日・2限	英語総合ⅡA	馬本 勉	1201 講義室	10名
<p>この授業は、1年生を対象とした全学共通教育科目の英語授業です。当日は映画の台詞を用いたリスニングや、英文ニュースに対する意見を英語で発表する活動を行います。</p> <p>持参物等：筆記用具</p>				

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
22日・3限	生物学Ⅱ	長尾 則男	大講義室	20名
<p>1年生対象の講義です。この講義では高校および生物学Ⅰで得た生物学の知識をより根元的に掘り下げること、今後進んでいく生命科学・環境科学の各専門分野への橋渡しの入門科目として位置づけられています。当日は個体を守る免疫のシステム(後半)について概説する予定です。</p> <p>持参物等：特になし</p>				

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数
22日・3限	環境管理学	西村 和之	1202 講義室	20名
<p>本科目は、環境学科コースの3年生を対象にした専門科目で、当日は、今日的な課題である気候変動の現象、その影響や処し方とともに、実社会における環境科学の役割を学ぶ単元です。実施日と時間毎の具体的なテーマは次の通りであり、それぞれ単独で受講しても理解できると考えています。</p> <p>22日3時限目：実社会における環境科学の役割、4時限目：環境アセスメント</p> <p>持参物等：筆記用具</p>				

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	募集人数

22日・4限	環境管理学	西村 和之	1202 講義室	20名
<p>本科目は、環境学科コースの3年生を対象にした専門科目で、当日は、今日的な課題である気候変動の現象、その影響や処し方とともに、実社会における環境科学の役割を学ぶ単元です。</p> <p>実施日と時間毎の具体的なテーマは次の通りであり、それぞれ単独で受講しても理解できると考えています。</p> <p>22日3時限目：実社会における環境科学の役割、4時限目：環境アセスメント</p> <p>持参物等：筆記用具</p>				

### ● 学部・学科・コースでの企画

独自プログラムとして、7月15日（月・祝）4時限に限り、研究室見学（参加者が希望する研究室を自由に訪問・見学、参加者1人あたり1コマで3研究室まで）を催行することとする。

1研究室あたりの公開・説明時間は10～15分を目安とする。

日・時限	内容	担当教員名	教室	募集人数
15日(月・祝) 4限	研究室見学	山下 泰尚	3603 研究室	20名
参加者は予め希望した研究室を各自で訪問・見学し、教員（又は所属学生）が研究内容について説明します。				
15日(月・祝) 4限	研究室見学	阿部 靖之	3501 研究室	20名
参加者は予め希望した研究室を各自で訪問・見学し、教員（又は所属学生）が研究内容について説明します。				
15日(月・祝) 4限	研究室見学	小林 謙介	1701 研究室	10名/1回 あたり
参加者は予め希望した研究室を各自で訪問・見学し、教員（又は所属学生）が研究内容について説明します。				
15日(月・祝) 4限	研究室見学	有馬 寿英	3108 教員実験室	5名/1回 あたり
参加者は予め希望した研究室を各自で訪問・見学し、教員（又は所属学生）が研究内容について説明します。 有馬研究室；微生物が実験対象				
15日(月・祝) 4限	研究室見学	齋藤 靖和	3601 研究室	5名/1回 あたり
参加者は予め希望した研究室を各自で訪問・見学し、教員（又は所属学生）が研究内容について説明します。				
15日(月・祝) 4限	研究室見学	荻田 信二郎	3503 研究室	3名/1回 あたり
参加者は予め希望した研究室を各自で訪問・見学し、教員（又は所属学生）が研究内容について説明します。 荻田研究室：植物細胞の蛍光顕微鏡観察、植物細胞農業				